

PAT-NO: JP02000203634A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 2000203634 A

TITLE: BLISTER PACK

PUBN-DATE: July 25, 2000

INVENTOR-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
ARAI, NORIO	N/A

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
ASAHI KOGYO KK	N/A

APPL-NO: JP11007829

APPL-DATE: January 14, 1999

INT-CL (IPC): B65D075/38

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a blister pack wherein a ground paper thereof has a large printing space, and there is no need to control the kinds of adhesives to be applied to a flange of a blister case and moreover the blister case can be easily separated from the ground paper.

SOLUTION: The blister pack consists of a blister case 1 comprising a container part 4, which stores cosmetics and has an opening, and a flange part extending outward from the periphery of the opening and a ground paper 2, folded double, which fixes the case 1 and on each of the opposite sides of which information such as all compositions of cosmetic materials is printed. A window 7, into which the container part 4 is inserted to fix the flange by means of the edges of the part 4, is formed in the ground paper 2.

The inside
surfaces of the folded paper 2 are adhered to each other through a
non-slipping
release paste so as to be separated, thereby holding the flange part
of the
case 1 between the inside surfaces.

COPYRIGHT: (C) 2000, JPO

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号
特開2000-203634
(P2000-203634A)

(43)公開日 平成12年7月25日(2000.7.25)

(51) Int.Cl. 7

識別記号

F I
B 65 D 75/38

テマコト(参考)
3 E 0 6 7

審査請求 未請求 請求項の数 2 OL (全 5 頁)

(21)出願番号 特願平11-7829
(22)出願日 平成11年1月14日(1999.1.14)

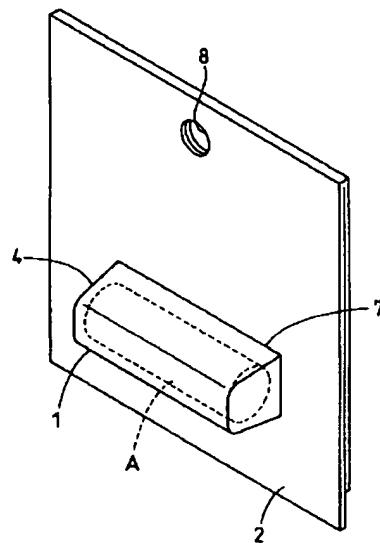
(71)出願人 591173936
旭日工業株式会社
静岡県富士宮市富士見ヶ丘545番地
(72)発明者 新井 邦夫
静岡県富士宮市富士見ヶ丘545 旭日工業
株式会社内
(74)代理人 100079382
弁理士 西藤 征彦
Fターム(参考) 3E067 AA14 AB81 AC01 BC03A
EE15 EE18 FB02 FC01

(54) 【発明の名称】 ブリストーパック

(57) 【要約】

【課題】台紙の印刷スペースが広く、プリスタークースのフランジ部に塗布される接着剤の種類を管理することができなく、しかも、プリスタークースと台紙とを分別することが容易なプリスター・パックを提供する。

【解決手段】化粧品Aを収容し開口部を有する容器部4と上記開口部周縁から外側に延設されたフランジ部とからなるプリスタークース1と、このプリスタークース1を固定し表裏面に化粧料の全成分等の情報が印刷された台紙材を二つ折りしてなる台紙2とで構成されており、上記台紙材には、上記容器部4を挿通させその縁部で上記フランジ部を係止する窓部7が形成され、上記台紙2の内側の2面は、防滑性を有する剥離糊を介して剥離可能に貼着されているとともに、上記プリスタークース1のフランジ部を挟持している。



A : 化粧品
 1 : ブリストーケース
 2 : 台紙
 4 : 容器部
 7 : 窓部

【特許請求の範囲】

【請求項1】商品を収容するプリスタークースと、このプリスタークースを固定する台紙とを備えているプリスタークックであって、上記プリスタークースが開口部を有する容器部と上記開口部周縁から外側に延設されたフランジ部とからなり、上記台紙が台紙材を二つ折りにすることにより形成され、上記容器部をその裏面から挿通させその縁部で上記フランジ部を係止する窓部が上記台紙材に形成され、上記台紙材の裏面に剥離糊を塗布しその裏面を内側にして二つ折りにすることにより裏面同士が上記剥離糊を介して剥離可能に貼着されているとともに上記フランジ部を挟持していることを特徴とするプリスタークック。

【請求項2】剥離糊が防滑性を有するものである請求項1記載のプリスタークック。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、商品等を販売する際に用いるプリスタークックに関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来より、図3に示すように、化粧品等の商品Bは、プリスタークックに収容されて販売される場合がある。このプリスタークックは、商品Bを収容するプリスタークース51と、このプリスタークース51を貼着することにより固定する台紙52とで構成されている。さらに、上記プリスタークックが店頭で吊り棒に吊るされ得るように、台紙52の上部には貫通孔58が形成されている。

【0003】上記プリスタークース51は、透明なプラスチック製であり、開口部を有する容器部54と、上記開口部周縁から外側に延設されたフランジ部55とからなっており、これらが一体成形されている。また、上記プラスチックの材質は、PVC(塩化ビニル樹脂)、A-PET(ポリエチレンテレフタレート)、PP(ポリプロピレン)、PS(ポリスチレン)等である。

【0004】上記台紙52は、紙製であり、その表面および裏面に、商品名や能書き等の情報が印刷されている。

【0005】そして、商品Bが収容されたプリスタークックは、つぎのようにして作製される。すなわち、まず、プリスタークース51、商品名等の情報が印刷された台紙52および商品Bならびにプリスタークース51のフランジ部55に塗布する接着剤を準備する。ついで、台紙52のプリスタークース51貼着予定部の中心部に、商品Bを取り易くするためのミシン目を形成する。つぎに、商品Bをプリスタークース51の開口部から容器部54内に収容する。つぎに、プリスタークース51のフランジ部55の裏面に接着剤を塗布する。つぎに、商品Bが収容されたプリスタークース51を上記接着剤を介して台紙52の表面に貼着する。そのち、台

紙52の上部に貫通孔58を形成する。このようにして、プリスタークックが作製される。

【0006】そして、商品Bの購入者は、上記ミシン目で台紙52を破り、商品Bを台紙52の裏面から取り出す。

【0007】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、台紙52に印刷すべき情報の量が多くなると、台紙52の表裏面だけでは印刷スペースが足りないため、別途に能書き等が記載された紙が必要となり、さらに、この紙を商品とともにプリスタークース51内に収容しなければならない。特に、商品が化粧品関係のものである場合には、その化粧料の全成分を表示する義務があるため、印刷スペースが足りないことが多い。

【0008】また、プリスタークース51のフランジ部55に塗布される接着剤は、プリスタークース51の材質によって異なるため、プリスタークックを作製する際に、接着剤の種類を管理しなければならない。

【0009】また、商品Bの購入者は、商品を取り出したのちは、ごみとなるプリスタークース51と台紙52とが接着剤により強固に貼着されているため、これらを分別することが困難で煩わしく、プラスチック製品(プリスタークース51)と紙製品(台紙52)とを分別することなく捨てることが多い。このようにしてごみを捨てると、環境に悪影響を及ぼす。

【0010】本発明は、このような事情に鑑みなされたもので、台紙の印刷スペースが広く、プリスタークースのフランジ部に塗布される接着剤の種類を管理することなく、しかも、プリスタークースと台紙とを分別することが容易なプリスタークックの提供をその目的とする。

【0011】

【課題を解決するための手段】上記の目的を達成するため、本発明のプリスタークックは、商品を収容するプリスタークースと、このプリスタークースを固定する台紙とを備えているプリスタークックであって、上記プリスタークースが開口部を有する容器部と上記開口部周縁から外側に延設されたフランジ部とからなり、上記台紙が台紙材を二つ折りにすることにより形成され、上記容器部をその裏面から挿通させその縁部で上記フランジ部を係止する窓部が上記台紙材に形成され、上記台紙材の裏面に剥離糊を塗布しその裏面を内側にして二つ折りにすることにより裏面同士が上記剥離糊を介して剥離可能に貼着されているとともに上記フランジ部を挟持しているという構成をとる。

【0012】すなわち、本発明のプリスタークックは、台紙が台紙材を二つ折りにすることにより形成されているため、印刷スペースが二つ折りにされた台紙の外側の2面(台紙材の表面に対応する面)および対峙する内側の2面(台紙材の裏面に対応する面)の合計4面とな

り、多くの情報を台紙に印刷することができる。また、プリスタークースのフランジ部を台紙材の裏面同士が挟持することによりプリスタークースが固定されているため、プリスタークックを作製する際には、プリスタークースの固定に接着剤を用いない。このため、接着剤の種類を管理する必要がなく、いろいろな材質のプリスタークースに対応することができ、また、化粧品を取り出す際には、プリスタークースと台紙とを簡単に分別することができる。

【0013】また、本発明のプリスタークックにおいて、剥離糊が防滑性を有するものである場合には、商品がプリスタークース内で回転せず、プリスタークックの作製時から商品の販売時まで、商品の正面をプリスタークックの正面に向けておくことができ、店頭陳列時の外観がよくなる。

【0014】

【発明の実施の形態】つぎに、本発明の実施の形態を図面にもとづいて詳しく説明する。

【0015】図1および図2は、本発明のプリスタークックの一実施の形態を示している。この実施の形態では、プリスタークックは、図1に示すように、化粧品（商品）Aを収容するプリスタークース1と、このプリスタークース1を固定する二つ折りの台紙2とで構成されている。さらに、上記プリスタークックが店頭で吊り棒に吊るされ得るように、台紙2の上部には貫通孔8が形成されている。

【0016】上記プリスタークース1は、従来の技術と同様のものである。すなわち、プリスタークース1は、図2に示すように、透明なプラスチック製であり、開口部3を有する容器部4と、上記開口部3周縁から外側に延設されたフランジ部5とからなっており、これらが一体成形されている。また、上記プラスチックの材質は、PVC（塩化ビニル樹脂）である。

【0017】上記台紙2は、1個所の角部6cが切断された略長方形の台紙材6を二つ折りにした紙製のものである。そして、この台紙材6には、上記プリスタークース1の容器部4を挿通させる窓部（開口部）7が形成されており、この窓部7は、その縁部でプリスタークース1のフランジ部5を係止するようになっている。また、二つ折りにされた台紙2の外側の2面（台紙材6の表面6aに対応する面）および対峙する内側の2面（台紙材6の裏面6bに対応する面）には、商品名、能書き、化粧料の全成分等の情報が印刷されている。また、上記台紙2の内側には、防滑性を有する剥離糊が塗布されており、上記内側の2面は、上記剥離糊を介して剥離可能に貼着されているとともに、上記プリスタークース1のフランジ部5を挟持している。

【0018】そして、このようなプリスタークックは、つぎのようにして作製される。すなわち、まず、上記プリスタークース1、商品名等の情報が印刷された台紙材

6および化粧品Aならびに防滑性を有する剥離糊を準備する。ついで、台紙材6の裏面6bの横方向の中心線9より下方に上記窓部7を形成するとともに、上記裏面6bの上半分に剥離糊を塗布する。つぎに、化粧品Aをプリスタークース1の開口部3から容器部4内に収容するとともに、上記容器部4を上記窓部7の裏面6bから挿通させ、上記プリスタークース1のフランジ部5を窓部7の縁部に係止させる。つぎに、上記中心線9を折り目として台紙材6をその裏面6bを内側にして二つ折りにし、裏面6b同士を貼着させる。この裏面6b同士が貼着した状態では、裏面6b同士が上記フランジ部5を挟持している。そのち、台紙2の上部に貫通孔8を形成する。このようにして、プリスタークックが作製される。

【0019】そして、化粧品Aの購入者は、上記二つ折りにされた台紙2を上記切断された角部6cから剥離し、化粧品Aをプリスタークース1の開口部3から取り出す。

【0020】このように、上記実施の形態によれば、商品名等の情報が印刷されている印刷スペースが二つ折りにされた台紙2の外側の2面（台紙材6の表面6aに対応する面）および対峙する内側の2面（台紙材6の裏面6bに対応する面）の合計4面となるため、多くの情報を台紙2に印刷することができる。したがって、化粧品Aのようにその化粧料の全成分を表示する義務がある場合等でも、印刷スペースが十分にあり、別途に上記全成分が記載された紙を必要としない。

【0021】また、プリスタークース1は、従来の技術のように台紙52に接着剤により貼着されているのではなく、そのフランジ部5が上記台紙材6の裏面6b同士で挟持されて台紙2に固定されている。このため、プリスタークックを作製する際には、プリスタークース1の固定に接着剤を用いないため、接着剤の種類を管理する必要がなく、いろいろな材質のプリスタークース1に対応することができ、また、化粧品Aを取り出す際には、プリスタークース1と台紙2とを簡単に分別することができる。

【0022】ところで、従来のプリスタークックでは、商品が円柱状体や球状体であると、商品がプリスタークース51内で回転し、商品の正面がプリスタークックの正面を向かないことが多かった。しかしながら、上記実施の形態のプリスタークックでは、上記剥離糊が防滑性を有しているため、化粧品Aが円柱状体や球状体であっても、化粧品Aがプリスタークース1内で回転せず、プリスタークックの作製時から化粧品Aの販売時まで、化粧品Aの正面をプリスタークックの正面に向けておくことができ、店頭陳列時の外観がよくなる。

【0023】さらに、プリスタークース1のフランジ部5は、台紙2の内部にあるため、外側から見えず、店頭陳列時の外観がよくなる。

【0024】なお、上記実施の形態では、ブリスタークース1の材質をPVC(塩化ビニル樹脂)としたが、これに限定されるものではなく、A-PET(ポリエチレンテレフタレート)、PP(ポリプロピレン)、PS(ポリスチレン)等の他のプラスチックの材質でもよいし、プラスチック以外の材質でもよい。また、台紙2(台紙材6)を紙製としたが、これに限定されるものではなく、プラスチック等の他の材質でもよい。

【0025】

【発明の効果】以上のように、本発明のブリスター パックによれば、台紙が台紙材を二つ折りにすることにより形成されているため、印刷スペースが二つ折りにされた台紙の外側の2面(台紙材の表面に対応する面)および対峙する内側の2面(台紙材の裏面に対応する面)の合計4面となり、多くの情報を台紙に印刷することができる。また、ブリスタークースのフランジ部を台紙材の裏面同士が挟持することによりブリスタークースが固定されているため、ブリスター パックを作製する際には、ブリスタークースの固定に接着剤を用いない。このため、接着剤の種類を管理する必要がなく、いろいろな材質のブリスタークースに対応することができ、また、商品を

取り出す際には、ブリスタークースと台紙とを簡単に分別することができる。

【0026】また、本発明のブリスター パックにおいて、剥離糊が防滑性を有するものである場合には、商品がブリスタークース内で回転せず、ブリスター パックの作製時から商品の販売時まで、商品の正面をブリスター パックの正面に向けておくことができ、店頭陳列時の外観がよくなる。

【図面の簡単な説明】

10 【図1】本発明のブリスター パックの一実施の形態を示す斜視図である。

【図2】上記ブリスター パックの作製方法を示す説明図である。

【図3】従来のブリスター パックを示す斜視図である。

【符号の説明】

A 化粧品

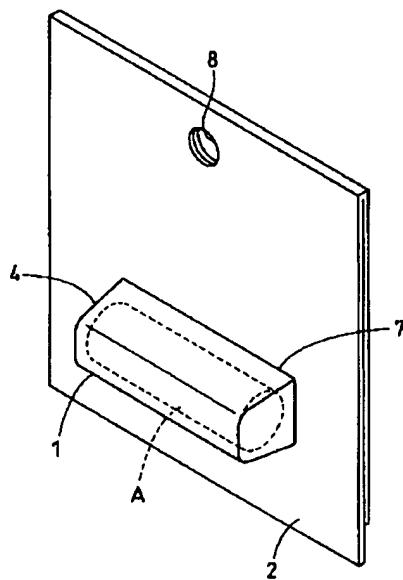
1 ブリスタークース

2 台紙

4 容器部

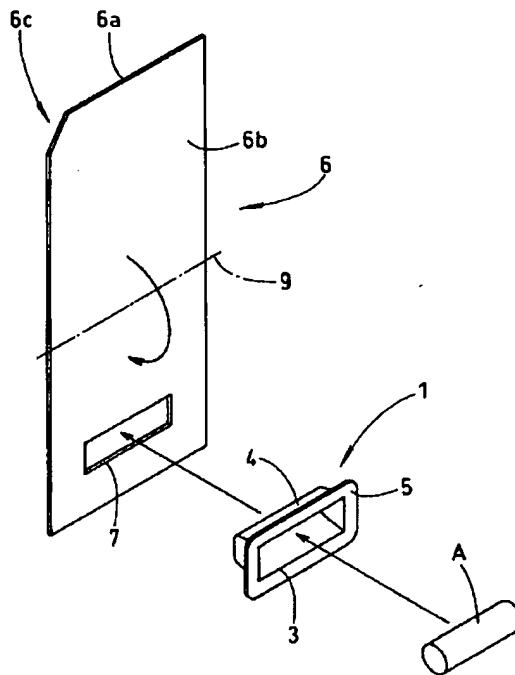
20 7 窓部

【図1】



A : 化粧品
1 : ブリスタークース
2 : 台紙
4 : 容器部
7 : 窓部

【図2】



【図3】

